

写真1



「海藻の森と磯浜」水槽の底をよく見ると、写真1のようなものが砂からによきによきとはえています。

この、先がカールした細い糸状のものは、ミズヒキゴカイのエラ(鰓糸とも呼ばれます。)です。ゴカイ本体は、砂の中に埋もれて見えませんが、掘り出してみると写真2のような姿をしています。ミズヒキゴカイの体には節ごとに細長いエラがのび、この多数のエラを水中に突き出しているのです。エラは呼吸をするのに必要ですが、ミズヒキゴカイの場合、砂の表面にたまっているエサとなる細かな有機物のかけらなどを、集める役割もあります。

集めたエサは、エラの溝を移動して徐々に口の方に送られます。

目立たないミズヒキゴカイですが、水槽の底にたまった餌カスを掃除してくれる掃除屋さんでもあるのです。



写真2